

特 記 仕 様 書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、町道安田賀茂線除草業務に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島県
広島県の調達情報のページ（<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>） - 「公共事業の情報」に掲載している。
 - ・その他関連規格類
- 3 本特記仕様書の「工事」は次から「業務」へ読替えるものとする。

第2節 週休2日適用工事

本工事は、週休2日適用工事であり、「世羅町週休2日適用工事等実施要領」に従うこと。なお、実施要領に基づき提出する様式「休日取得計画表」等は「広島県の調達情報＞公共工事等の情報_様式集＞建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載されているものを使用すること。

第3節 現場の管理

- 1 受注者は業務現場内において、現場代理人及び主任技術者に業務名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。
- 2 現場代理人は、専任で配置するものとする。
- 3 主任技術者の選任は必要とするが、建設業法第27条の23該当工事ではないため、専任及び兼務制限の対象とはならない。

（名札様式）

現場代理人	
氏 名	○ ○ ○ ○
○ ○	○ ○ 業務
写 真	印 工 期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日
◇ ◇ 建設株式会社 印	

- ・用紙の大きさは、名刺サイズ以上。
- ・印は所属会社の社印。
- ・写真のサイズは2cm×3cm程度。

第4節 完成通知

受注者は、契約工期の終期日（工期の終期日が土曜日、日曜日、祝日等に当たる場合は、その前日）までに工事を完成するとともに、監督員を通じて発注者に対し、完成通知書を提出するものとする。

第5節 現道工事における保安施設等

- 1 現道工事における保安施設のうち、「工事標示板」の標準様式については、次のとおりとすること。
なお、看板の寸法は、縦140～200cm、横114～200cmとする。



新しい路上工事看板（工事中看板）

何の工事を何の目的で実施しているかをわかりやすく示す「**工事内容**」を表示します

「**工事期間**」は、一目でわかるように、終了日のみを表示し、枠囲みや大きな文字で強調します

工事内容を簡潔に説明した「**工事種別**」を表示します

（様式備考）

色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青字に白抜き文字とし、「〇〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。

＜様式の変更点＞

新しい路上工事看板では、目の前の路上工事に関する情報を道路利用者にわかりやすく提供するため、工事期間が一目でわかるように強調するとともに、「何の工事を」「何の目的で」実施しているのかわかるように表示する等の改善を行う。

- 2 路上工事に関する情報を歩行者や工事現場周辺の住民に周知するため、工事情報看板及び工事説明看板を歩道部に設置すること。

標準様式は次のとおりとすること。
なお、看板の寸法は、縦140cm、横55cmとする。



（工事情報看板）



（工事説明看板）

（様式備考）

色彩は、「ご迷惑をおかけします」等のあいさつ文については青字に白抜き文字、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。

「工事情報看板」：路上工事の開始を事前に周知する場合に設置。

予定されている道路管理者の行う道路工事に関する情報を提供するため、道路工事を開始する約1週間前から道路工事を開始するまでの間、工事内容、工事期間等を標示する工事情報看板を、道路工事が予定されている現場付近にドライバーから看板内容が見えないように設置するものとする。

ただし、短期間に完了する軽易な工事等については、この限りでない。

「工事説明看板」：現在実施している工事に関する情報を提供する場合に設置。

実施されている道路工事に関する工事情報を提供するため、道路工事開始から道路工事終了までの間、工事内容、工事期間等を標示する工事説明看板を、道路工事現場付近にドライバーから見えないように設置するものとする。

- 3 現道工事における保安施設のうち、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとすること。

なお、看板の寸法は、縦140～165cm、横110cmとする。



（様式備考）

色彩は、文字については青色文字、矢印については赤色、地を白色とし、「まわり道〇m⇒」の地は白色スコッチライトとする。

第2章 施工条件

第1節 安全対策

- 1 工事中の安全確保 建設機械施工安全技術指針は、国土交通省大臣官房技術調査課長及び国土交通省総合政策局建設施工企画課長通知（平成17年3月31日）を参考とすること。
- 2 除草中の安全確保
防護板等により、除草時の飛び石を防護し、第三者への危険を防止するものとする。
- 2 交通誘導員
除草作業期間中の交通誘導員は26名の配置を見込んでいる。

第2節 一般廃棄物

- 1 刈草の搬出
当該工事により発生する刈草は、次のとおり搬出するものとする。
搬出場所 同一市町村内の田畑及び請負者が管理するヤードで、次の条件を満たす場所。
 - ・田畑にあっては、耕作者が刈草を堆肥化して使用することを条件として受入れを承諾しているもの。
 - ・受注者が管理するヤードにあっては、刈草を一時保管あるいは堆肥化する間、目隠しフェンス等により良好に管理することができる場所。
運搬距離 6.5キロメートルを計上している。
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、発注者と請負者が協議するものとする。

第3章 道路施設等維持修繕業務について

第1節 共通事項

- 1 提出書類
提出書類の規格は原則A-4とする。
- 3 打合せ方法
原則、工事打合せ簿を用いての打合せとする。
- 5 安全管理
飛び石、騒音等、周囲への安全配慮を十分に行い、道路利用者や近隣住民への事故が無いようにするものとする。しかし事故が起きた場合には人命救助を第一に誠実に対応し、遅滞なく監督員へ報告するものとする。

第2節 除草

- 1 施工時期
施工回数は7月20日以降の年1回を原則とし、9月中旬までに完了すること。
- 2 施工範囲
除草幅は、切土側0.8m以下、盛土側0.5m以下を標準とする。
場所によっては監督員と協議し、利用者の安全が確保できるような範囲を除草するものとする。
- 3 除草後の廃棄物について
除草後の廃棄物は、リサイクルを第一に考え、堆肥化に積極的に取り組み、田畑等の受入先を同一市町村内で検討し、事前に搬出先を監督員と協議するものとする。また、運搬・堆肥化及び利用までの処理計画書を監督員に提出するものとする。
搬出後は受入確認書を整理し、適切に処理された事を確認したうえ、書面により監督員に報告するものとする。
広島県東部建設事務所の管理する道路で発生した一般廃棄物の処分については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、いかなる場合でも野焼き又は、世羅町の許可を受けた一般廃棄物処理施設以外での処理を行ってはならない。
- 4 報告
着手前に事前測量を行い、予定数量と工程表を監督員に報告するものとする。
除草が全て完了した時点で速やかに施工数量を監督員へ報告するものとする。
- 5 出来形管理
位置図及び展開図を整理し、数量計算書を作成したうえ、監督員に提出するものとする。
- 6 写真撮影
黒板に、業務名、路線名、測点、左右、日付を記入して、施工前、施工中、施工後を2km毎に写真に撮影し、管理するものとする。
施工後は、ポール等で除草幅が分かるように写真を撮影すること。また、左右の除草状況が分かるような全景写真を撮影すること。
提出物の減量化を考えて、電子媒体等での提出も受け付けるものとする。
- 7 立会
路線毎に除草が完了したら、その都度監督員に報告し、監督員の確認を受けること。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

